

令和2年度

決算報告書

第17期事業年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

国立大学法人三重大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人三重大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,186	11,327	141	(注1)
施設整備費補助金	1,065	1,187	122	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	814	2,186	1,372	(注3)(注4)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	43	9	(注5)
自己収入	31,231	29,383	△ 1,848	
授業料、入学金及び検定料収入	4,294	3,936	△ 358	(注6)
附属病院収入	26,138	24,774	△ 1,364	(注7)
財産処分収入	76	88	12	(注8)
雑収入	723	585	△ 138	(注9)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,634	2,694	60	(注10)
引当金取崩	-	13	13	
長期借入金	750	750	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
目的積立金取崩	298	469	171	(注11)
計	48,012	48,052	40	
支出				
業務費	40,566	38,256	△ 2,310	
教育研究経費	14,833	14,223	△ 610	(注12)
診療経費	25,733	24,033	△ 1,700	(注13)
施設整備費	1,849	1,980	131	(注14)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	814	1,980	1,166	(注15)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,634	2,139	△ 495	(注16)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,149	2,108	△ 41	(注17)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	48,012	46,463	△ 1,549	
収入-支出	-	1,589	1,589	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階での見積もりより、特殊要因経費(退職手当)及び授業料免除実施経費の追加交付等のため、予算金額に比して決算金額が141百万円多額となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金が採択されたため、予算金額に比して決算金額が122百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入については、予算段階での見積もりより補助金採択件数が多かったため、予算金額に比して決算金額が1,372百万円多額となっています。

(注4) 補助金等収入には、授業料等減免交付金が206百万円含まれており、本補助金は授業料免除に使用しています。

(注5) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階で想定していた交付額が増額変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が9百万円多額となっています。

(注6) 授業料、入学金及び検定料収入については、予算段階での見積もりより授業料等免除者が増加したこと及び、志願者数・入学者数が減少したこと等により、予算金額に比して決算金額が358百万円少額となっています。

(注7) 附属病院収入については、病床稼働率の低下及び外来患者数の減少等により、予算金額に比して決算金額が1,364百万円少額となっています。

(注8) 財産処分収入については、予算段階での見積もりより、処分収入が増加したことにより、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっています。

(注9) 雑収入については、主として予算段階での見積もりより、寄宿舍料収入、講習料収入の減等により、予算金額に比して決算金額が138百万円少額となっています。

(注10) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得増により、予算金額に比して決算金額が60百万円多額となっています。

(注11) 目的積立金取崩については、事業計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が、171百万円多額となっています。

(注12) 教育研究経費については、執行計画を見直したことにより、予算金額に比して決算金額が610百万円少額となっています。

(注13) 診療経費については、(注7)等により、予算金額に比して決算金額が1,700百万円少額となっています。

(注14) 施設整備費については、(注2)(注5)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が131百万円多額となっています。

(注15) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1,166百万円多額となっています。

(注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、産学連携等研究経費等の執行計画の見直しにより、予算金額に比して決算金額が495百万円少額となっています。

(注17) 長期借入金償還金については、金利の見直しにより、41百万円少額となっています。